



2022年度

(2023年3月期)

第1四半期

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

2022年7月29日

目次

1. 第1四半期決算の概要 p. 2 - 3
2. 2022年度業績見通し p. 4 - 5
3. 活動状況 ～環境保全～ p. 6
4. 活動状況 ～安全運航～ p. 7
(ご参考) 財務アウトルック p. 8

1. 第1四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2021年度							2022年度	前年度 同期比
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	
売上高	428	469	897	547	515	1,062	1,959	623	+ 195
営業利益	47	66	113	88	66	154	267	112	+ 65
外航部門	45	62	107	83	59	142	249	113	+ 68
内航部門	2	4	6	5	7	12	18	▲ 1	▲ 3
経常利益	41	63	105	91	70	161	266	131	+ 90
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36	52	87	71	78	149	236	105	+ 69

BCI 5TC市況推移(2021年4月～)



1. 第1四半期決算の概要

外航海運 今後の環境規制の不透明感により新造船供給が絞られる中、地政学的リスクを背景にした資源調達先の多様化が海上輸送（トンマイル）の長距離化につながり、昨年に続き海運市況は高値圏で推移いたしました。加えてドル円相場が6月に135円を突破、円安ドル高が一段と加速したことも増益要因となり、営業損益は前年同期比約68億円の増益となりました。

ドライバルク : 大型船市況（ケープサイズ）は中国のゼロコロナ政策に伴う行動制限が響き昨年と比べ伸び悩みましたが、中小型船市況（パナマックス、ハンディサイズ）は石炭や穀物の輸送距離の長距離化が見られたことで船腹需給は引き締まり、高値圏を維持いたしました。また、燃料価格の上昇に伴い、適合燃料油価格と高硫黄C重油価格の値差が拡大したことで脱硫装置を搭載した船舶の収益が増加しました。

タンカー : 大型LPGタンカーは、原油、天然ガスをはじめとする資源供給の先行き不透明感から調達を急ぐ傾向が見られ、比較的タイトな船舶需給環境により、期を通して高値圏で推移いたしました。

内航海運 半導体不足による国内生産停滞の影響が長期化していることに加え、外航と異なり、燃料価格上昇を補う運賃調整の遅れから収益が圧迫され約1億円の営業損失となりました。

ドライバルク : 国内鉄鋼関連輸送量は主に自動車生産の停滞から原料、鋼材部門共に伸び悩みました。また、セメント関連輸送量は一部地域での建設需要増により前年同期比を上回る水準となりました。

タンカー : LPG輸送は季節的・構造的な需要減退があったものの、LNG輸送で新規航路の運用が開始されたことにより、タンカー事業全体として輸送量は前年同期と比べ増加いたしました。

以上により、当第1四半期の連結業績は前年同期比で営業利益では約65億円、経常利益では約90億円、四半期純利益では約69億円の増益となりました。

2.2022年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2021年度 通期 (実績)	2022年度 (今回予想)			前期比 増減
		上期	下期	通期	
売上高	1,959	1,200	970	2,170	+211
営業利益	267	190	100	290	+23
経常利益	266	210	90	300	+34
親会社株主に帰属する 当期純利益	236	170	90	260	+24

	2021年度 通期	2022年度		
		上期見通し	下期見通し	通期
為替	¥111.50	¥130.17	¥130.00	¥130.09
燃料油価格 (全油種平均) ※	\$500	\$680	\$700	\$690
市況 ケープサイズ	\$32,733	\$24,000	\$20,000	\$22,000
パナマックス	\$28,089	\$24,000	\$18,000	\$21,000
スモールハンディ	\$27,585	\$23,000	\$16,000	\$19,500

※脱硫装置を搭載した船舶で消費する高硫黄C重油を含む全油種平均価格

2.2022年度業績見通し

通期過去最高益を更新する見込み

上期業績の見通し：堅調な海運市況及び円安進行により上方修正を見込みます

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に起因するサプライチェーンの混乱や地政学的リスクの高まりから世界的に原材料の調達先を複数ルート確保する動きが広がり、それに伴う輸送トンマイルの増加により船腹需要が拡大しています。一方でインフレや金利上昇等により世界経済の先行きに不透明感が漂っているものの、海運市況は歴史的低水準で推移する船腹供給に支えられ堅調な推移が予想されます。特に非鉄金属などマイナーバルクの輸送需要が底堅いことから中小型船での収益増加を見込んでいます。
- ・ 燃料油価格の上昇に対しては、減速航海による燃料消費節減に加え、脱硫装置を設置した船腹が適合燃料油価格と高硫黄C重油価格の値差拡大を商機とすることで、想定を上回る収益を確保する見通しです。
- ・ 24年ぶりの円安となる為替相場も大きな増益要因となり、上期の連結業績予想（四半期純利益）は前回2022年4月28日付けで公表いたしました93億円に対し170億円へ大幅に上方修正いたします。

下期業績の見通し：季節的要因による市況の下落は予想されるも安定収益確保を見込みます

- ・ 世界経済の減速懸念に加え、年明けは季節的な要因で市況の軟化が予想されますが、市況の変動に対する順応性強化を目的とした船隊ポートフォリオの構築やあらかじめ輸送契約の締結を進めたことから、当初想定した収益が確保をされる見通しです。
- ・ これにより2022年度通期の連結業績は、各段階利益で最高益を更新し当期純利益は260億円を予想します。

配当予想：配当性向は年間で概ね30%を目途とします

中間配当：一株当たり125円としていた配当予想を一株当たり170円に修正します。

期末配当：一株当たり170円、中間配当と合わせた年間配当は一株当たり340円を予想します。

3.活動状況 ～環境保全～

日本製鉄向け大型鉱石船でバイオディーゼル燃料による試験航行を実施

本年3月、日本製鉄向け大型鉱石船 NSU BRILLIANCEにてバイオディーゼル燃料による試験航行を実施いたしました。これはシンガポールでバイオディーゼル燃料を供給し、鉄鉱石の積出港がある南アフリカ共和国に向かう途中で実施したものです。燃料は廃食用油を原料として精製されており、International Sustainability and Carbon Certification (ISCC) からの認証を取得しております。

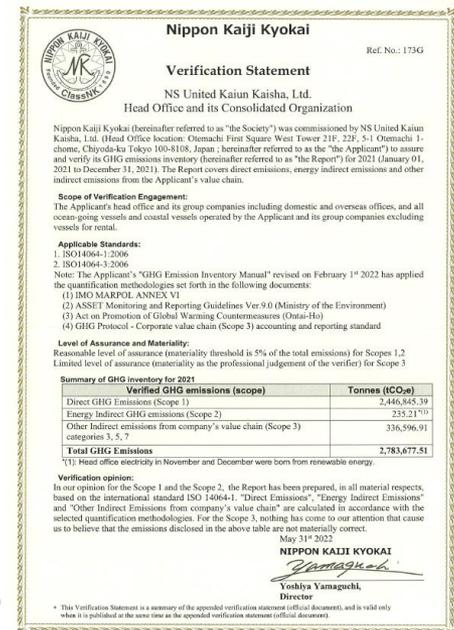
バイオディーゼル燃料は既存の船用エンジンで使用可能であり、汎用性の高い低炭素燃料と考えられます。今後ともさまざまなソリューションを組み合わせながら温室効果ガス排出削減を目指し、サステナブルな社会の発展に貢献してまいります。



(NSU BRILLIANCE)

温室効果ガス排出量に対するISO14064に基づく 検証声明書を取得

自社で算定した当社グループのScope3を含む温室効果ガス排出量に対し、一般社団法人日本海事協会（ClassNK）による第三者検証を受け、検証声明書を取得しました。今回から、Scope3として前回算定したカテゴリー 3（燃料・電力の上流工程）、7（通勤）に加え、カテゴリー 5（廃棄物）も対象としています。国際規格に従って排出量を正確に算定・把握し、検証を受けることで、信頼性の高いデータをもとに課題を洗い出し、今後も継続して温室効果ガスの削減に取り組んでまいります。



(検証声明書)

3.活動状況 ～安全運航～

SAKURA BRIGHT「ベストクオリティーシップ 2021」受賞

当社が運航する撒積船 SAKURA BRIGHTが、日本水先人会連合会が選定する「ベストクオリティーシップ2021」を受賞しました。同賞は、船舶の安全運航と港湾・海洋環境の保護に対する意識を高揚するため、水先人から見た優秀船舶に対する表彰制度として、2003年に創設されたものです。

選定に際しては、安全運航に対する船長・乗組員の意識の高さ、船内における円滑なコミュニケーションと指揮命令系統、水先人への協力体制に加え、航海設備や乗下船設備の状態等が総合的に評価されました。



NSU MILESTONE 7年連続無事故・無災害・無疾病達成

当社では 1 年間を通し、船上での「無事故・無災害・無疾病」を達成した船舶に対し、2014年より社内表彰制度を設けています。制度制定以来、毎年対象船舶には賞状および記念品を授与し、乗組員の安全な航海への感謝を伝えるとともに、船上での安全意識の啓蒙を継続しています。

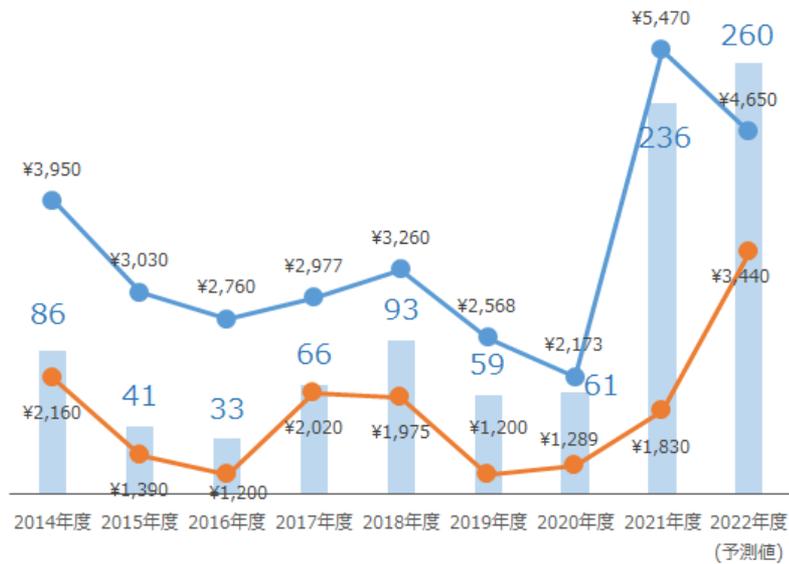
NSU MILESTONEが 2015 年度より 7 年連続で無事故・無災害・無疾病を達成し、本船乗組員に表彰状と記念品が授与されました。

日頃からの安全運航への尽力について乗組員へ感謝するとともに、より一層の船上における安全意識の向上を目指してまいります。



(ご参考) 財務アウトック

当期純利益と期中株価の推移



■ 当期純利益 (億円) ● 株価最高値 ● 株価最低値

2022年度
* 当期純利益は予測値
* 株価は4-6月実績

期末純資産・時価総額



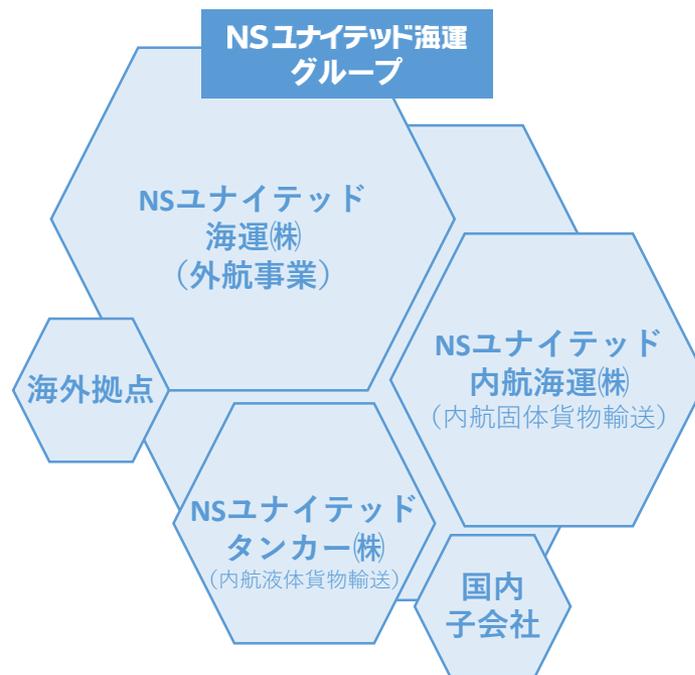
■ 期末純資産 (億円) ■ 期末時価総額 (億円) ● PBR (倍)

NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<https://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411